

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第44期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	株式会社ニチリョク
【英訳名】	NICHIRYOKU CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長兼社長執行役員 寺村 久義
【本店の所在の場所】	東京都杉並区上井草一丁目33番5号
【電話番号】	(03) 3395 - 3001
【事務連絡者氏名】	常務取締役兼常務執行役員 矢田 欣也
【最寄りの連絡場所】	東京都杉並区上井草一丁目33番5号
【電話番号】	(03) 3395 - 3001
【事務連絡者氏名】	常務取締役兼常務執行役員 矢田 欣也
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第2四半期 累計期間	第44期 第2四半期 累計期間	第43期 第2四半期 会計期間	第44期 第2四半期 会計期間	第43期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	2,296,465	2,442,382	1,350,812	1,394,035	4,798,308
経常利益(千円)	222,108	320,805	209,299	235,899	662,794
四半期(当期)純利益(千円)	117,235	178,173	113,787	133,087	270,996
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-	-	-
資本金(千円)	-	-	1,306,842	1,306,842	1,306,842
発行済株式総数(株)	-	-	13,741,014	13,741,014	13,741,014
純資産額(千円)	-	-	3,832,594	4,010,435	3,943,737
総資産額(千円)	-	-	10,964,988	10,754,514	10,855,678
1株当たり純資産額(円)	-	-	279.19	301.21	292.73
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	8.54	13.27	8.28	9.95	19.84
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-	-	7.5
自己資本比率(%)	-	-	34.9	37.3	36.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	139,939	620,224	-	-	735,959
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	306,812	23,983	-	-	283,517
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	682,180	407,422	-	-	1,029,818
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	953,679	1,415,760	1,178,974
従業員数(人)	-	-	137	138	135

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 「持分法を適用した場合の投資利益」については、子会社及び関連会社がないため、記載しておりません。

4. 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期会計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

該当事項はありません。

4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	138	(114)
---------	-----	-------

(注)従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は当第2四半期会計期間の平均人員を()外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

1. 生産実績

当第2四半期会計期間における生産実績を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

(千円未満切捨)

事業部門別	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
霊園事業部 (千円)	746,816	100.6
葬祭事業部 (千円)	241,441	108.1
合計 (千円)	988,257	102.4

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 金額は販売価格により表示しております。

2. 受注状況

当第2四半期会計期間における受注状況を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

(千円未満切捨)

事業部門別	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
霊園事業部 (千円)	742,913	105.5
堂内陵墓事業部 (千円)	320,875	103.0
葬祭事業部 (千円)	241,441	108.1
合計 (千円)	1,305,230	105.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 販売実績

当第2四半期会計期間における販売実績を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

(千円未満切捨)

事業部門別	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
霊園事業部 (千円)	832,095	101.8
堂内陵墓事業部 (千円)	320,498	103.4
葬祭事業部 (千円)	241,441	108.1
合計 (千円)	1,394,035	103.2

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 堂内陵墓事業は、販売に関わる受取手数料等であります。

3. 前第2四半期会計期間及び当第2四半期会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
宗教法人 法蘭寺	194,388	14.3	192,895	13.8
宗教法人 方等院	98,456	7.2	112,172	8.0

2【事業等のリスク】

当第2四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年来の米国発の国際金融危機の深刻化を背景に、景況感の悪化による個人消費が低調に推移しており、景気の先行きはなお予断を許さない状況にあります。当社が属する供養産業におきましても、死亡者が年々増加しているにもかかわらず業者間格差が広がっております。特に景気の後退と年金問題等で高齢者の将来不安は払拭されず、購買意欲は依然低調であります。これに伴う同業他社との競争激化による顧客単価の低下という厳しい状況下、当社はビジネスモデルのチェンジ、即ち屋外墓地の霊園事業から、供養の全てをバックした堂内陵墓事業への展開を引き続き図るとともに、愛彩花倶楽部会員獲得に積極的に取り組み、葬儀見込み客の囲い込みを進めた結果、売上、利益ともに前年同四半期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期会計期間における業績は、売上高13億9千4百万円（前年同四半期比3.2%増）、営業利益2億5千7百万円（前年同四半期比12.0%増）、経常利益2億3千5百万円（前年同四半期比12.7%増）、四半期純利益1億3千3百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

各部門の状況

< 霊園事業部門 >

従来式の屋外墓地につきましては、景気後退による影響で、比較的高価格となる屋外墓地の買い控え並びに小規模傾向が続く環境下ながら、売上高は8億3千2百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

< 堂内陵墓事業部門 >

堂内陵墓第三号「関内陵苑（横浜市中区）」の販売手数料収入は、景況感の悪化にもかかわらず、引き続き顧客からの好反響・支持を受けており、当初の計画を上回る販売数で推移しております。また、堂内陵墓第四号「覚王山陵苑（名古屋市中千種区）」が昨年3月に完成し、順調な販売実績を上げております。売上高は、3億2千万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

< 葬祭事業部門 >

愛彩花倶楽部会員数の順調な増加により、葬儀施行件数も順調に伸びたことに加え、現代の住環境に適した家具調モダン仏壇仏具専門店「愛彩花ギャラリー」の売上も貢献し、葬儀の地味化傾向からの施行単価の下落を補い、売上高は2億4千1百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に社債の償還及び借入金の返済による支出がございましたが、一方では営業収入及び貸付金の回収による収入もあり、前年同四半期会計期間末に比して、4億6千2百万円増加し、当第2四半期会計期間末は14億1千5百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれら要因は、次のとおりであります。

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

当第2四半期会計期間における営業活動の結果、得られた資金は3億3千2百万円（前年同四半期は2億5千4百万円の獲得）となりました。これは、主として営業収入によるものです。

< 投資活動によるキャッシュ・フロー >

当第2四半期会計期間における投資活動の結果、使用した資金は2千7百万円（前年同四半期は2千7百万円の獲得）となりました。これは、主として貸付金の支出によるものです。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

当第2四半期会計期間における財務活動の結果、使用した資金は2億2千3百万円（前年同四半期は3億1千6百万円の使用）となりました。これは、主として借入金の返済の支出によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所名又 は登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	13,741,014	13,741,014	株式会社ジャスダック証 券取引所	単元株式数 1,000株
計	13,741,014	13,741,014	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	-	13,741,014	-	1,306,842	-	958,082

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社エムエスシー	東京都杉並区上井草一丁目33-5	1,694	12.33
株式会社サン・ライフ	神奈川県平塚市馬入本町13-11	900	6.54
佐藤 兼義	静岡県湖西市	673	4.89
株式会社南日本銀行	鹿児島県鹿児島市山下町1-1	638	4.64
寺村 久義	東京都練馬区	530	3.86
佐藤 創也	静岡県湖西市	529	3.84
大場 俊賢	東京都中野区	441	3.20
株式会社ニチリョク	東京都杉並区上井草1-33-5	426	3.10
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6-6	400	2.91
江川 正男	東京都西東京市	332	2.41
計	-	6,565	47.78

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 426,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式13,296,000	13,296	-
単元未満株式	普通株式 19,014	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	13,741,014	-	-
総株主の議決権	-	13,296	-

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)ニチリョク	東京都杉並区上井草一丁目33番5号	426,000	-	426,000	3.10
計	-	426,000	-	426,000	3.10

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	178	178	195	235	244	238
最低(円)	170	155	169	184	205	217

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所における株価を記載しております。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

(役職の異動)

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
専務取締役	サービス推進本部長	専務取締役	葬祭事業本部長	寺村公陽	平成21年7月1日
常務取締役	経営統括本部長 兼経営管理部長 兼新事業推進部長	常務取締役	経営管理本部長 兼企画開発本部長 兼経営統括部長	矢田欣也	平成21年7月1日
取締役	サービス推進本部 霊園事業部長	取締役	霊園事業本部長	藤井 昇	平成21年7月1日
取締役	開発本部長	取締役	堂内陵墓事業本部長	伊坂敏雄	平成21年7月1日
常務取締役	経営統括本部長 兼経営管理部長	常務取締役	経営統括本部長 兼経営管理部長 兼新事業推進部長	矢田欣也	平成21年10月1日
取締役	経営統括本部 新事業推進部長	取締役	サービス推進本部 霊園事業部長	藤井 昇	平成21年10月1日

第5【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表並びに当第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,708	1,756,676
完成工事未収入金	89,381	94,551
売掛金	158,881	227,300
永代使用権	1,353,906	1,488,284
未成工事支出金	438,751	412,254
原材料及び貯蔵品	70,371	74,108
その他	373,804	289,312
貸倒引当金	11	61
流動資産合計	4,474,794	4,342,426
固定資産		
有形固定資産	1,324,902	1,344,052
無形固定資産	329,541	374,836
投資その他の資産		
長期貸付金	1,166,835	1,277,689
霊園開発協力金	1,520,950	1,684,389
その他	2,202,662	2,096,588
貸倒引当金	265,173	264,303
投資その他の資産合計	4,625,275	4,794,363
固定資産合計	6,279,720	6,513,252
資産合計	10,754,514	10,855,678
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,933	50,948
短期借入金	635,020	523,600
1年内返済予定の長期借入金	2,126,339	2,114,190
1年内償還予定の社債	106,000	106,000
未払法人税等	160,694	150,479
賞与引当金	49,900	49,000
役員賞与引当金	7,620	18,000
その他	856,061	776,754
流動負債合計	3,989,568	3,788,973
固定負債		
社債	148,000	101,000
長期借入金	2,279,746	2,723,430
退職給付引当金	187,686	167,987
役員退職慰労引当金	106,243	97,716
その他	32,834	32,834
固定負債合計	2,754,511	3,122,968
負債合計	6,744,079	6,911,941

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,938,335	1,861,204
自己株式	77,489	45,896
株主資本合計	4,125,771	4,080,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	95,312	116,168
繰延ヘッジ損益	20,023	20,326
評価・換算差額等合計	115,335	136,495
純資産合計	4,010,435	3,943,737
負債純資産合計	10,754,514	10,855,678

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,296,465	2,442,382
売上原価	798,929	888,643
売上総利益	1,497,535	1,553,739
販売費及び一般管理費	1,246,613	1,202,039
営業利益	250,922	351,700
営業外収益		
受取利息	26,420	20,562
保険解約返戻金	9,446	-
受取配当金	6,169	5,644
その他	10,125	12,208
営業外収益合計	52,162	38,414
営業外費用		
支払利息	74,587	66,880
その他	6,387	2,428
営業外費用合計	80,975	69,309
経常利益	222,108	320,805
特別損失		
固定資産売却損	-	117
特別損失合計	-	117
税引前四半期純利益	222,108	320,688
法人税、住民税及び事業税	96,778	155,628
法人税等調整額	8,094	13,113
法人税等合計	104,872	142,514
四半期純利益	117,235	178,173

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,350,812	1,394,035
売上原価	475,991	530,955
売上総利益	874,821	863,079
販売費及び一般管理費	1 644,814	1 605,546
営業利益	230,006	257,533
営業外収益		
受取利息	13,233	10,208
その他	6,124	3,683
営業外収益合計	19,358	13,891
営業外費用		
支払利息	38,170	33,547
その他	1,894	1,978
営業外費用合計	40,065	35,526
経常利益	209,299	235,899
税引前四半期純利益	209,299	235,899
法人税、住民税及び事業税	94,830	133,229
法人税等調整額	682	30,417
法人税等合計	95,512	102,811
四半期純利益	113,787	133,087

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	2,346,287	2,538,515
原材料又は商品の仕入れによる支出	476,801	506,726
人件費の支出	596,453	600,269
その他の営業支出	846,194	621,708
小計	426,839	809,811
利息及び配当金の受取額	33,654	26,257
利息の支払額	79,139	70,475
法人税等の支払額	241,414	145,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,939	620,224
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	18,224	28,245
定期預金の払戻による収入	236,000	34,000
有形固定資産の取得による支出	30,734	13,040
無形固定資産の取得による支出	23,043	1,249
貸付けによる支出	-	46,000
貸付金の回収による収入	189,676	156,025
霊園開発協力金の支出	40,253	30,248
差入保証金の差入による支出	24,316	46,617
差入保証金の回収による収入	32,701	20,695
その他	14,993	21,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	306,812	23,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	750,000	720,000
短期借入金の返済による支出	821,340	608,580
長期借入れによる収入	800,000	750,000
長期借入金の返済による支出	1,038,051	1,181,535
社債の発行による収入	200,000	98,290
社債の償還による支出	470,000	53,000
自己株式の取得による支出	-	31,906
配当金の支払額	102,788	100,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	682,180	407,422
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	235,479	236,786
現金及び現金同等物の期首残高	1,189,158	1,178,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,424,637	1,415,760

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
(四半期損益計算書)	前第2四半期累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「社債利息」は、当第2四半期累計期間においては「支払利息」に含めて表示しております。なお、前第2四半期累計期間及び当第2四半期累計期間における「社債利息」は、それぞれ3,983千円及び1,575千円であります。
	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
(四半期損益計算書)	前第2四半期会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「社債利息」は、当第2四半期会計期間においては「支払利息」に含めて表示しております。なお、前第2四半期会計期間及び当第2四半期会計期間における「社債利息」は、それぞれ840千円及び723千円であります。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	法人税等の納付税額の算定にあたっては、加味する加減算項目を重要なものに限定しております。繰延税金資産の回収可能性の判断にあたっては、前事業年度末以降、経営環境に著しい変化はなく、かつ一時差異の発生状況に大幅な変化がないため、前事業年度末において使用した将来の業績予測及びタックスプランニングを使用して行っております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)		前事業年度末 (平成21年3月31日)	
1 有形固定資産の減価償却累計額 618,743千円		1 有形固定資産の減価償却累計額 596,903千円	
2 保証債務		2 保証債務	
被保証者(保証債務の内容)	金額	被保証者(保証債務の内容)	金額
財団法人霊園開発協会 (三菱商事(株)からの借入金に 対する保証)	11,198千円	財団法人霊園開発協会 (三菱商事(株)からの借入金に 対する保証)	27,997千円
財団法人霊園開発協会 (エヌ・ティ・ティ・リース (株)からの借入金に対する保証)	8,261千円	財団法人霊園開発協会 (エヌ・ティ・ティ・リース (株)からの借入金に対する保証)	20,652千円
宗教法人法蘭寺 (三菱商事(株)からの割賦債務 に対する保証)	217,280千円	宗教法人法蘭寺 (三菱商事(株)からの割賦債務 に対する保証)	516,040千円
宗教法人法蘭寺 (株)東京スター銀行からの借 入金に対する保証)	27,846千円	宗教法人法蘭寺 (株)東京スター銀行からの借 入金に対する保証)	66,134千円
宗教法人法蘭寺 (三菱UFJリース(株)から の借入金に対する保証)	16,707千円	宗教法人法蘭寺 (三菱UFJリース(株)から の借入金に対する保証)	39,680千円
宗教法人法蘭寺 (エヌ・ティ・ティ・リース (株)からの借入金に対する保証)	11,138千円	宗教法人法蘭寺 (エヌ・ティ・ティ・リース (株)からの借入金に対する保証)	26,453千円
宗教法人法蘭寺 (三菱電機クレジット(株)から の借入金に対する保証)	5,569千円	宗教法人法蘭寺 (三菱電機クレジット(株)から の借入金に対する保証)	13,226千円
計	298,001千円	計	710,185千円

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は
次のとおりであります。	次のとおりであります。
従業員給与及び手当 387,655 千円	従業員給与及び手当 393,653 千円
賞与引当金繰入額 33,880	賞与引当金繰入額 42,763
役員賞与引当金繰入額 7,200	役員賞与引当金繰入額 7,620
退職給付費用 5,242	退職給付費用 18,356
役員退職慰労引当金繰入額 8,027	役員退職慰労引当金繰入額 8,527
広告宣伝費 306,642	広告宣伝費 248,386
減価償却費 68,702	減価償却費 65,008

前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は
次のとおりであります。	次のとおりであります。
従業員給与及び手当 206,032 千円	従業員給与及び手当 198,373 千円
賞与引当金繰入額 21,807	賞与引当金繰入額 26,640
役員賞与引当金繰入額 3,600	役員賞与引当金繰入額 4,060
退職給付費用 3,196	退職給付費用 7,955
役員退職慰労引当金繰入額 4,013	役員退職慰労引当金繰入額 4,513
広告宣伝費 150,351	広告宣伝費 121,005
減価償却費 34,815	減価償却費 32,559

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対
照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)
現金及び預金勘定 1,514,751千円	現金及び預金勘定 1,989,708千円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金等 561,072千円	預入期間が3ヶ月を超える 定期預金等 573,948千円
現金及び現金同等物 953,679千円	現金及び現金同等物 1,415,760千円

(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 13,741千株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 426千株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月22日 定時株主総会	普通株式	101,042	7.5	平成21年3月31日	平成21年6月23日	利益剰余金

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 301.21円	1株当たり純資産額 292.73円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 8.54円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	1株当たり四半期純利益金額 13.27円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	117,235	178,173
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	117,235	178,173
期中平均株式数(千株)	13,727	13,426

前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 8.28円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 9.95円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	113,787	133,087
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	113,787	133,087
期中平均株式数(千株)	13,727	13,382

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月6日

株式会社ニチリョク
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内山 敏彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千葉 達也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニチリョクの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第43期事業年度の第2四半期会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニチリョクの平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月9日

株式会社ニチリョク
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内山 敏彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千葉 達也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニチリョクの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第44期事業年度の第2四半期会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニチリョクの平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。